

# コンクリートテスター (CTS-02v2→CTS-02v4) 変更内容

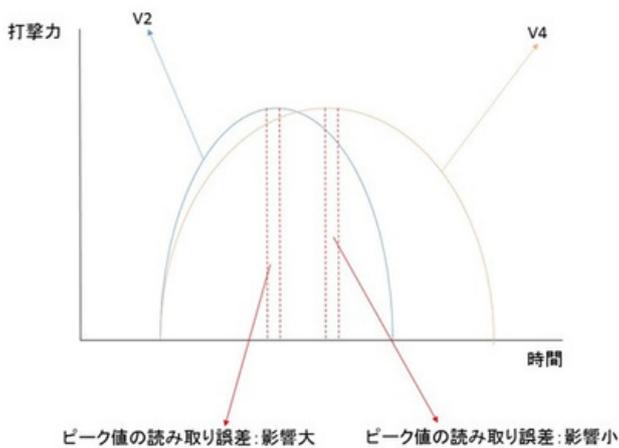


# ハンマー重量の変更

CTS-02v2

CTS-02v4

ハンマー重量が軽いと、ハンマーとコンクリートの接触時間が短い



接触時間が短いほど、打撃力波形（内部処理）のピーク値の読み取り誤差が生じ、計測値のバラつきが大きくなっていた

ハンマー重量が重くなったことで測定値のバラつきが減少



# 操作性の向上

## CTS-02v2

エリアモード利用時は、ポイントに対して1打撃しかできない

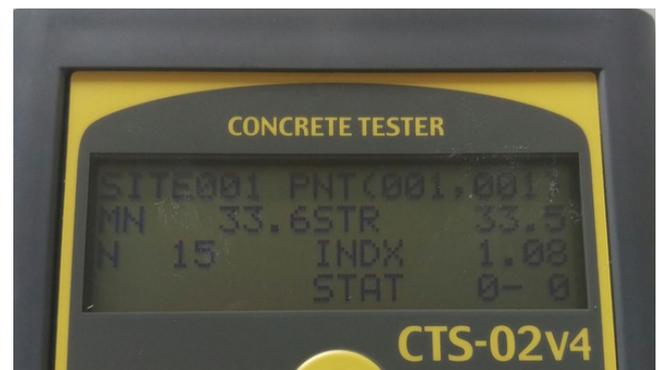
打撃の間隔が2秒必要



## CTS-02v4

任意のポイントで、複数回打撃 (N) が可能

打撃の間隔が1秒となり操作性が向上



# PCへのデータ転送方法

CTS-02v2

計測完了後、本体下部からSDカードを取り出し、PCに接続しデータを転送



SDカードの紛失のリスク、接続用のPCにSDカードの差込口がない可能性もある

CTS-02v4

USBケーブルで、データ転送が可能に！！

